

クラウドファンディング～解説と成功事例～

著者：株式会社アープ代表  
岡野 辰太郎

第171号を発信します。2016年02月12日(金)

【タイトル】クラウドファンディング～解説と成功事例～ 5回シリーズ：その2

著者：株式会社アープ代表  
岡野 辰太郎

第2回：クラウドファンディングの種類について

モノづくりのクラウドファンディングサイト「SpotLight (スポットライト)」  
<http://crowd-spotlight.com/>を開発・運営している株式会社アープ代表の岡野  
です。

今回は、「クラウドファンディング」について説明させて頂きました。  
今回は、第2回目となる「クラウドファンディングの歴史と種類について」をお届け  
してまいります。

クラウドファンディングは、主に、米国において2000年以降リリースされて  
きました。

2008年にスタートした「IndieGoGo」や、2009年リリースの「Kickstarter」  
などは、特に有名です。米国は2012年にJOBS (the Jumpstart our Business  
Startups Act) 法を成立させ、未公開企業が個人投資家から資本調達可能なスキーム  
を築き上げました。

市場規模は、全世界で2014年度約2兆円、2015年度約4兆1280億円に達する  
見込みです。このうち、日本国内の統計は、2014年度約200億円、2015年度  
283億円の見込みとなっています。

次に、クラウドファンディングの種類ですが、主に1寄付型、2金融型、3購入型の  
3種類の形式があります。日本国内では法的規制の問題から、3の購入型が圧倒的多数

を占めており、弊社の SpotLight（スポットライト）も「購入型」で運営しております。これは、2011年の東日本大震災をきっかけとして注目されたことから、寄付型、購入型を中心に拡大したことも理由の一つでしょう。しかし、近年は、金融型の存在感が高まっています（金額ベース）。

1：寄付型は、応援者（資金提供者）にリターンなく、プロジェクトの成功を見守る方法となります。

相性が良いプロジェクトとしては、被災地支援や途上国の支援など、社会的意義の大きいプロジェクトとなるでしょう。通常の寄付であればお金を出して終了ですが、クラウドファンディングを活用することで、寄付をしたプロジェクトを可視化できます。

また、プロジェクト企画者は、プロジェクトの活動状況を逐次伝えることによって共感を得られ、一段と大きなプロジェクトを実行できる可能性があります。

2-1：金融型（融資型）は、個人間の貸借をインターネット上で事業者が仲介する方法です。

2-2：金融型（株式型）は、インターネット上で未公開企業に株式として出資する方法です。昨年から日本国内でも法整備が進み、今後の普及に期待が高まっています。

金融型のクラウドファンディングは、応援者（出資者）が特定の企業などに出資を行い、利益（配当や利益の一部）または株式が発行される形式です。

これまでは、ベンチャーキャピタルなどが投資を行っていた分野でも、インターネットを活用し小口出資を集めることが可能となったことで、個人投資家が参加できるようになりました。

相性が良いプロジェクトとしては、未上場企業・不動産・海外プロジェクト（マイクロファイナンス）等になるかと思います。

3：購入型は、応援者（資金提供者）が企画者を応援する見返りとして、プロジェクト成功に際して、何らかの権利や物品といったリターンをもらう方法。

プロジェクトが成功してから商品やサービスを提供するため、先行販売（受注生産）に近い形となります。弊社でも、お問い合わせを頂く企業様には受注生産に近いですよ、とお伝えすると、担当の方々に理解して頂けるようです。

応援者は、リターンに魅力を感じてプロジェクトに出資するケースがほとんどなので、何よりも、共感を呼ぶ魅力的なリターンを用意することが大事です。

また、昨年位からは、「特化型」と呼ばれるクラウドファンディングサイトも増えてきました。

世界的には、起案者が全員セレブリティかつチャリティ団体の資金調達に特化したもの、科学研究に特化したもの、地元密着型のもの、農業関連に特化したもの等、様々な「特化型」のクラウドファンディングサイトが増えてきています。

弊社の SpotLight（スポットライト）も、モノづくりのクラウドファンディングサイト  
なので、「特化型」とも言えましょう。

次回、第3回は、「プロジェクト達成のために必要なこと」についてご説明させて頂こう  
と思います。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

=====

◆◆はやぶさ3周年・感謝キャンペーン◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

お蔭さまで3周年・皆様のご愛読に感謝いたしております。

マイナンバー元年のお年玉 ★手引書・無料プレゼントのご案内★

新年1月1日より、マイナンバー制度の運用が始まります。

皆様、準備は進んでおりますか？

ご愛読者の皆様への感謝としまして、「無料」で進呈します。

手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度導入運用手引書 定価：1000円\*無料進呈

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・・・・始業/終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016年に実施する課題の準備をする（現法令の場合）
- 8) 付表 MyNa 問診シート

\*お申込みは下記のメールアドレス宛に、

「お名前、社名、所属部署、〒・住所（必須）、URL（ある場合）」を  
ご記入の上、メールしてください。

[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

◆クロネコDM便でお送りします◆

\*\*\*\*\*

◆第44回「トライアルゲーム」(5時間コース) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

- 「トライアルゲーム」(初回体験受講)の場合はテキスト代 1,000円  
特典として 小冊子「マイナンバー制度導入運用手引書 定価:1000円」を  
差し上げます。

毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」  
がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。

- 1) 02月13日(土) 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は以下に掲載しています。

[http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf\\_1\\_92.pdf](http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf_1_92.pdf)

\*\*\*\*\*

◆第45回「トライアルゲーム」(スペシャルコース) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

- 「トライアルゲーム」(初回体験受講)の場合はテキスト代 1,000円  
特典として 小冊子「マイナンバー制度導入運用手引書 定価:1000円」を  
差し上げます。

毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」  
がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。

- 1) 03月23日(水) 10:00~17:00 「経営特訓道場」JR駒込駅南口 徒歩6分  
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は後日掲載します。

=====

◆経営相談は

[http://hosbiz.net/pdf/20150527\\_02.pdf](http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf)

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAXください。

FAX : 03-5832-9404

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone\\_river@ho](http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho)